

感染症対策・



調査センター



2024(令和6)年11月1日

第 10 号

編集
発行

名古屋市保健所
感染症対策・調査センター

〒463-8585

名古屋市守山区桜坂四丁目207番地

電話 737-3712 FAX 736-1102

Mail a7373711-07@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

当センター(業務課)の
ホームページはこちらから



マダニって知っていますか？



マダニって知っていますか？
家の中に潜んでいるダニとは違います。
感染症を媒介することがあります。
マダニについて理解を深め、対策をしましょう。



フタトゲチマダニ
(成虫、メス)

Q1.どのように大きくなりますか？

A1.卵から産まれて 幼虫 (脱皮) → 若虫 (脱皮) → 成虫 になります。脱皮をする前と産卵前に動物の血を吸います。エサは動物の血のみで、約1~3年生きます。

Q2.大きさは？

A2.成虫で数mm(ゴマくらい)の大きさですが、血を吸うと数倍(小豆くらい)の大きさになります。なかには、吸血前は約1cm、吸血後は2~3cmの大きさになるマダニもいます。



Q3.どこにいますか？

A3.野山や野生生物が現れるような草むら等で、主に草や枯葉の下にいることが多いです。飛ぶことは出来ないので動物にくっついて移動します。

Q4.気を付けることはありますか？

A4.血を吸うときに日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) などの病気を引き起こす病原体を移すことがあります。

Q5.体についているのを見つけたらどうすればいいですか？

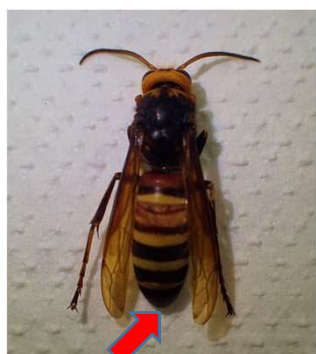
A5.皮膚科などの医療機関で処置をしてもらいましょう。自分で取るとマダニの一部が体に残ることがあります。また、処置後数週間は体調の変化に気を付けてください。

Q6.刺されないためにはどうすればいいですか？

A6.山の麓などマダニがいそうな場所に行くときには長袖、長ズボン、長靴などなるべく肌が隠れる服装にしましょう。虫除けスプレーも効果があります。入浴時にマダニがついていないか全身をチェックしましょう。



マダニに刺されないように対策をしましょう！



ヒメスズメバチ
腹端（矢印）が黒いのが特徴です。



ヒメスズメバチの巣
巣は他のスズメバチに比べて最も小さく、笠のある形が特徴です。

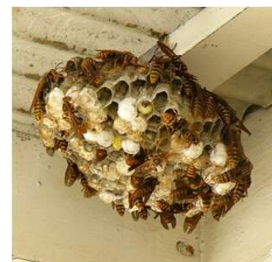
このたよりでは、当センターのフィールド調査に関わるムシたちについて不定期に紹介していますが、今回登場するのはヒメスズメバチです。

ヒメスズメバチは、生息数はそれほど多くないものの名古屋市内での調査で、モンズズメバチ、コガタスズメバチ、オオスズメバチに次いで捕獲され、ほぼ市全域で見られます。

一般的にスズメバチは、好みはありますがいろいろな昆虫類やクモなどを狩って幼虫のエサとします。しかし、ヒメスズメバチは幼虫のエサとして、アシナガバチの幼虫やさなぎの体液のみを与えて、他の虫には興味を示さない「偏食家」のハチです。そのため、活動時期はアシナガバチと重なり、他のスズメバチよりひと月ほど早く活動を終わめます。

ヒメスズメバチはオオスズメバチに次ぐ大きさですが、他のスズメバチよりも攻撃性は低く比較のおとなしいハチでもあります。

アシナガバチが
大好物！



アシナガバチの巣
巣房の中に白や黄色く見えるのが幼虫やさなぎです。

令和6年度スズメバチ分布調査結果（市内12地点で8月～9月の2週間調査）

種 類	コガタ スズメバチ	モン スズメバチ	ヒメ スズメバチ	オオ スズメバチ	その他	合 計
捕獲数	535	562	34	298	1	1,430

センターからのお知らせ

衛生研究所公衆衛生セミナーについて

感染症対策・調査センターでは、衛生研究所の公衆衛生セミナー（衛生研究所YouTubeチャンネルによる配信）にて、感染症や衛生害虫関係の動画を公開しています。

11月27日には角坂照貴先生（愛知医科大学医学部感染・免疫学講座研究員）による「マダニとマダニ媒介感染症」についての講演動画を公開する予定です。

なお、今年度はすでに、6月28日にマダニ、9月27日にスズメバチをテーマとした動画も公開しています。各動画は配信日から1年間ご視聴いただけますので、ぜひご覧ください。



公衆衛生
セミナー
はこちら

